

「エンターテインメントの発想法」

(全 10 回・1 回 30 分)

小林雄次

第 3 回「ログラインを書いてみよう」

ストーリーを短い一文でまとめる重要性

国・人種・文化・言語を越えて通用する骨太のドラマ

「ログライン」とは、映画やドラマなどの内容を、短く要約したもの

ストーリーを書く場合、最初にログラインを考えることから始める

脚色・翻案する場合も、まずはログラインから

映画を観たり、小説を読んだりしたら、それをログラインにまとめることが、最も初歩的なシナリオの練習

ログラインのルール＝60 文字以内・一文で記したもの

「〇〇（主語）が～～する話。」という書き方で統一。（最後の「。」も含めて 60 字以内）

例)『千と千尋の神隠し』のログライン

「引っ越し中、神々の世界へ迷い込んだ少女が、両親を豚に変えられてしまい、
銭湯で働きながら人間の世界へ帰るために奮闘する話。」

ログラインを考える際のポイント

- ①主人公は誰か？
- ②どんな国の人でも理解できるか？
- ③意味不明な固有名詞が入っていないか？
- ④貫通行動はあるか？
- ⑤イメージの広がりがあるか？
- ⑥皮肉はあるか？

ドラマにおける「皮肉」とは何か？＝一筋縄ではいかない「ひねり」

『ダイ・ハード』を例に考える「皮肉」

『ロス：タイム：ライフ』を例に考える「皮肉」

【課題について】

「世界に通用するエンターテインメントのログラインを書く。60 字以内・一文で。

3 本」（一度目の課題「もしも～。しかも～」の内容とは被らないログライン）